

四時ダム ESCO 事業

民間の持つ資金、経営能力等を活用し、民間事業者が新たに水力発電機を設置して発電を行うとともに、ダム管理所等の電気設備の省エネルギー化を図る事業として進めてきた四時ダムESCO事業ですが、11月13日(木曜日)現地に於いて、清水敏男いわき市長、吉田栄光福島県議会土木常任委員長をはじめ多くのご来賓の出席のもと、発電所建設に向けて工事中の安全を祈願し起工式を挙行了しました。

【事業概要】

利用河川：2級河川鮫川水系四時川(四時ダム)

最大出力：470kw 年間発生電力量:275万kwh(一般家庭の760世帯分に相当)

最大使用水量：1.0m³/s

【経過】

平成25年1月	ESCO事業提案型募集要項等資料配布
3月	提案内容のプレゼンテーション及びヒアリング 最優秀提案を決定
11月	NK福島水力発電株式会社の設立 契約締結 再生可能エネルギー発電設備認定申請書 提出
12月	現地ボーリング調査 詳細設計開始 系統連係申込
平成26年9月	詳細設計完了 水利使用に関する河川法の許可申請提出
11月	起工式
平成27年4月	発電開始(予定)



12月29日現在の工事現場

ダムへの理解を深めるために。その2

10月1日、入遠野中の生徒2名が職場体験で、訪れ、職員からダムの概要の説明を受けたあと、施設の巡視と湖面の巡視を体験しました。



左上：
巡視を体験
上：
監査廊内
左：
職員の説明

※ESCO事業の効果

1. 水力発電設備等の整備に関する県の初期投資が必要ありません。(ゼロ予算事業)
2. ダム管理に必要な電気料の削減がはかれます。
3. 契約期間終了後(H46年度以降)は、小水力発電設備等が県に無償譲渡され、その後の売電収入等のすべて得られます。